カヌーを愛する会

草加パドラーズ

[会報第 48 号] 平成 29 年 7 月 23 日発行

□草加パドラーズ事務局　住所　草加市松江 2-4-16□電話　048-931-3844

田中和明市長との面談で少し前進

7 月 20 日(木)、古田副会長、井坂広報委員長、中島事務局長、埼河連大石代表、理事高師氏、幾島氏、鈴木氏 7 名が元市議浅井康雄氏を通じて 30 分間の市長面談の機会を得ました。左岸船着場の鍵の貸与と最終ゴミ処理の問題について、市長の英断を仰ぎましたが、覚書を理由に平行線でした。鍵の問題については、毎水曜の活動日には、市役所職員が鍵を開け閉めすること、ゴミの最終処分の責任については、近隣市町村の例を調べてから対応するとの返答をいただきました。鍵の貸与が、200 回(予測)から半分の 100 回程度に減ることは、一歩前進と考えることが現状であるということを認めながら、これからの市役所の姿勢や考え方が変わるまで地道な活動が大事であることを再認識しました。

蒲生、出羽堀の浮遊ゴミ回収

7 月 15 日(土)、木村、古田、松下、小峰、中村、大原、中島の 7 名で蒲生一里塚付近で綾瀬川に合流する出羽堀の浮遊ゴミ回収を実施しました。ドブ臭いにおいの中を 8 袋分のゴミを回収しました。このような中小河川の汚濁水が綾瀬川に流れ込んでいる現状を見ると、清流化活動の重要性を改めて考えさせられました。また、鋼矢板垂直護岸が、人々から水辺に親しめる環境を奪っている現状を目の当たりにしました。

「スケートボード」回収大作戦

7月20日(木)、左岸船着場付近で遊んでいた市内小学6年生のスケートボードが川の中に滑り落ちてしまいました。長い竿のタモ網で何度も探りましたが、水位が高

くて発見できませんでした。また、翌21日、干潮時にカヌーで捜索しましたが発見できませんでした。22日、8名の会員によって捜索した結果ついに発見し、持ち主へ帰りました。3年間大事に使って来たお気に入りのスケボーでしたので、喜びもひとしおです。回収できてよかったですね。ご本人は、みどり公園課や草加・八潮消防署にもお声をかけたそうで、色々と努力してくれたとのことです。

「ボーイスカウト草加第8団」カヌー体験

7月23日(日)、ボーイスカウト草加第8団のメンバー5名が、カナディアンカヌーの体験をしました。8月中旬に福島県内の湖でのボーイスカウトカヌー大会の事前練習としての体験でした。皆さん上達しましたのでぜひ頑張ってきてください。